

特 徴

- 廃棄物燃焼主体の焼却炉型運転方式とボイラ型運転方式の双方の選択が可能
- 豊富な廃棄物の燃焼実績に基づくサーマルリサイクルシステム
- 培ってきた環境対策の独自技術を活用した地球に優しいシステム

概 要

(技術の原理・動作等)

「クラボウ流動層ボイラシステム」は、焼却炉内の珪砂(媒体)を高温の流動状態に保ち、この中に廃棄物(燃料)を投入して瞬時に完全燃焼させ、その熱を蒸気に回収するシステムです。

本システムの特長は、廃棄物を主体とした焼却炉型運転方式と廃棄物を燃料として蒸気圧力を制御するボイラ型運転方式の双方を選択でき、層内熱回収プロセス、二段燃焼プロセスなどを組み込んだシステム構成となっています。

独自開発により、し尿汚泥・製紙汚泥・食品残渣などの高含水率の汚泥・廃液や高発熱量の廃プラスチック・廃油などを混合燃焼するシステムなどで50基程度の実績を有しております。したがって、単に木質系バイオマス燃料だけを燃焼するのではなく、多種類の廃棄物を組み合わせて燃料として活用するサーマルリサイクルシステムを最大の特長としています。

導入実績

■ A工場

燃料:150ton/日

建築廃材	80ton/日
汚泥他	60ton/日
廃プラ	10ton/日

発生蒸気量:15~20ton/H



導入実績A工場

■ B工場

燃料:50ton/日

建築廃材	35ton/日
汚泥他	7ton/日
廃プラ	8ton/日

発生蒸気量:8ton/H(蒸気タービン)



導入実績B工場

■ C工場

燃料:115ton/日

木質チップ

森林系	60%
建築廃材	40%

発生蒸気量:18ton/H



導入実績C工場

効 果

- ◎ 廃棄物・バイオマスの有効利用による低コストなサーマルリサイクル(省エネルギー)と、カーボンニュートラルの観点からの二酸化炭素排出削減の効果を有しています。

適用分野
製紙・食品残渣などのスラッジ、地方自治体及び各種組合

水

省エネ・エネルギー回収

エネルギー
蓄エネ・創エネ

新エネルギー

廃棄物処理
再資源・省資源

大気

土壌

その他